

## 地域包括支援センターによる 地域ケア会議等の取り組み状況

## 1 平成30年度の状況

センター名	実施回数	主な内容等
ふれあいの里	18	<p>【啓成地区】 ボランティア組織との連携、活動支援を行い、地域のネットワーク構築に繋がった。</p> <p>【車尾地区】 地域福祉や防災活動を協議する「支え愛連絡会」に参加し、ささえあいマップを活用した見守り活動や、災害時の避難困難者の支援について協議した。 地域の企業と協働し、健康安全運転教室を実施した。</p> <p>【福生地区】 地区の地域福祉推進委員会に参加し、サロン活動の充実、高齢者の居場所づくり、健康寿命の延伸等協議した。</p> <p>【福米地区】 民生委員と介護サービス事業所との協議の場に参加し、地域のネットワーク構築を図った。</p>
義方・湊山	1	<p>義方地区において、4つの事例についての情報共有、検討を行うとともに、スーパー閉店に伴う買い物難民対応について議論した。</p>
住吉・加茂	8	<p>【住吉地区、加茂地区】 介護老人福祉施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催しあ、地域で取り組む災害時の高齢者支援、独居高齢者への見守り支援、健康寿命の延伸等について、グループワークで議論した。 加茂地区においては、地区の地域福祉活動計画検討会に参加し、地域におけるネットワーク構築について協議した。</p> <p>【河崎地区】 地区自治連が主催し、地区内の社福法人が支援して開催された地域ケア会議に参加し、災害時の高齢者支援、支え愛マップづくりについて協議した。</p>
尚 徳	9	<p>地域ケア個別会議を実施した。地域において、重点的に支援が必要な高齢者について、医療・介護関係者に加え、警察や自治会長、民生委員、近隣住民、親族等が参加して課題の解決策を検討した。 地区自治連との共催により、尚徳地区全体で「優しい地域(まち)づくり」として、自治会、民生委員、地区社協、住民等</p>

		が参加した、住民主体による支え合いを考える研修会を実施した。
弓 浜	10	<p>【和田地区】</p> <p>センターの支援で立ち上がったケア会議は、今年度も2か月に一度の頻度で開催。地元主体による認知症行方不明者対応訓練を地元の社福法人と連携して実施するなど、活発な活動となっている。</p> <p>【大篠津地区】</p> <p>地域住民の地域の課題等を明らかにし、必要な支援等を考えていくため、ケア会議において各世代ごとのアンケートを作成した。</p> <p>【崎津地区】</p> <p>自治会、地区社協、民生委員、在宅福祉員、青少年健全育成会議、更生保護女性会、介護サービス事業所らとケア会議を立ち上げ、地域のネットワーク構築について協議した。</p>
箕蚊屋	13	担当する4地区において、地元住民からの要望により、「防災、災害対応」、「我が事・丸ごとのまちづくり」、「買い物支援」、「サロン活性化」をテーマにそれぞれ議論した。
淀 江	7	淀江地区の全体会において、「歯科からみた介護予防」をテーマに歯科医師を講師に迎え、口腔ケアと介護予防について学んだ。また、淀江・宇田川・大和それぞれの地区において、自治会、民生委員等が参加したケア会議を開催し、助け合い体験ゲームをするなどし、地域での支え合いについて議論した。

## 2 令和元年度の計画

センター名	予定回数	主な内容等
ふれあいの里	12	啓成地区は、地区関係者との連携を進め、地域課題の把握していく。車尾地区の支え愛連絡会との協働を継続し、地域活動の支援を行う。福生地区の地域福祉活動計画の実行に伴う推進委員会へ引き続き参加し、活動支援を行う。福米地区は、医療・介護の専門職とのネットワーク構築を進め、地域住民、地域活動団体との連携につなげる。
義方・湊山	4	リハビリ専門職の指導・助言を得ながら、自立支援型の地域ケア会議に取り組む。
住吉・加茂	6	加茂地区において、地域課題をテーマとした会議の開催に向けて取り組む。河崎地区では、地域主体の地域ケア会議に引き続き関わるとともに、自治会単位での小規模なケア会議を支援していく。住吉地区は、引き続き同一法人の施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催する。
尚徳	8	地域ケア個別会議を随時開催し、専門多職種と地域住民が課題の解決・改善策を検討する。浮き彫りとなった課題は地区全体の地域ケア会議で共有し、地域の高齢者支援策に繋げていく。
弓浜	18	和田地区、大篠津地区、崎津地区との共催を継続し、内容の充実を図っていく。他の地区については、地域ケア会議を通じた地域づくりの必要性を説明し、身近なテーマにより今後の開催を働きかける。また、個別事例を通じて地域課題を把握し、解決に向けた取り組みを行う。
箕蚊屋	8	圏域内の医療機関、介護サービス事業所、民生委員、自治会、ボランティア組織、その他各種団体と連携し、地域課題解決に向けた地域ケア会議を開催する。
淀江	10	昨年度に引き続き、担当している全地区で開催予定。各自治会長や在宅福祉委員等、住民レベルの参加を一層促進していく。

※ここで実施・予定回数を示している「地域ケア会議」は、医療・介護・福祉等の専門職のみで構成される個別のケース会議を除き、各公民館地区や日常生活圏域（中学校地区単位）、自治会等において、地域関係者や多職種の参加により高齢者を取り巻く現状等を話し合い、課題の解決・改善に向けて開催した会議をいう。地域で開催される地域福祉に資する会議の共催・支援、計画等への参画も含む。